

「都幾川の三日月湖(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



特別調査車「モコ号」→

踏切を渡って、すぐ右下に下りる砂利道がある。車は、地図の②地点に停めてあとは歩いたほうが良い。

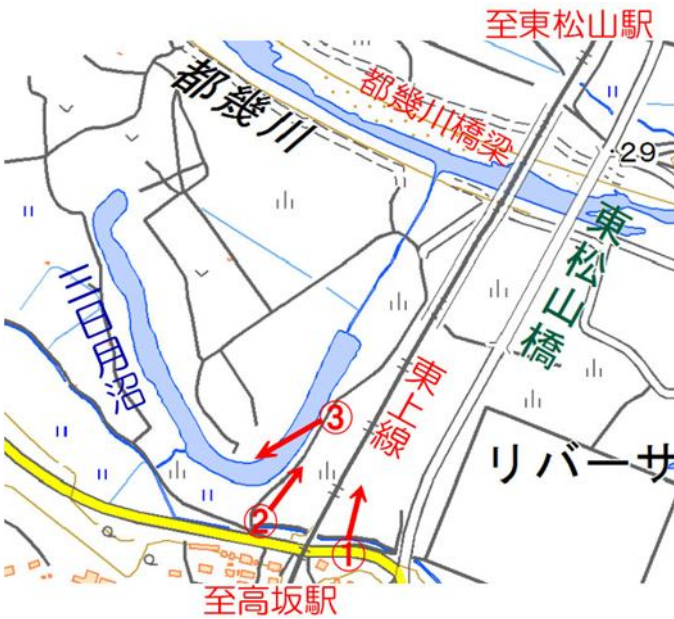


②地点から見た「三日月沼」と堤防。この堤防は、三日月沼が、まだ都幾川本流だった時代にできた「自然堤防」の一部だろう。現在は砂利道になっている。幅員狭小で、路面も劣悪な場所があるので、大型の高級車では入らないほうが良い。幸い調査車「モコ号」は大型でも高級車でもない単なる軽自動車なので、そのまま進入した。(特に通行止めの標識・看板はない)



③地点から見た三日月沼。奈良にある前方後円墳の周濠にそっくりだ。都幾川本流だった時代で言えば、上流側の蛇行を見ていることになる。地上では、③地点あたりから見た様子が、最も「三日月型」に近い。蛇行の外側にあたる、カーブの左側(上流から見ると右岸)には、小型のテトラポットが並んでいる。

7月24日、この日は成増と小川町に用事があったので、三日月沼の「調査」も行くことにした。成増と小川町なら東上線に乗っていけばスイスイなのだが、今回行く「三日月沼」は、高坂駅からも東松山駅からも遠いので、軽自動車「モコ号」で行くことにした。



関越道の東松山ICを下りて、松山市街へ少し走ると、坂戸方面に右折する県道がある。その道を南下すると、「東松山橋」で都幾川を渡る。橋からは右手に東上線の「都幾川橋梁」も見える。橋を渡って、最初の交差点を右折すると、東上線の踏切がある。



①地点より。都幾川橋梁を渡った上り東上線電車。ほとんどの乗客は、三日月湖の存在を知らないだろう。